

茨城県
自衛隊家族会

会 報

第4号
2025年10月1日
発行者
正代 初代

令和七年度前期

会 長 挨 拶

茨城県自衛隊家族会
会長 正代 初代



令和七年度も早や半年が経過しました。例年になく猛暑が続く、最近、朝夕は多少過ごしやすくなりましたが、日中は相変わらずの猛暑、会員の皆様にはくれぐれもご愛ください。

さて、会報第四号では令和七年度前期の県自衛隊家族会の活動実績を主体に掲載いたしました。この間の事業活動にご参加・ご協力いただいた会員の皆さまに心から感謝申し上げます。

とともに後期におきましてもご支援・ご協力をお願い申し上げます。特に、自衛隊では益々厳しい募集環境となっております。前期では「広報・募集協力」を重点に支援・協力して参りましたが、後期は自衛隊入隊内定者に対する「つなぎ広報協力」に貢献したいと考えております。電子メールやホームページにより茨城地本イベント情報をご連絡いたしますので、会員皆様のご協力を頂ければ幸いです。（茨城県自衛隊家族会のホームページは下図のQRコードから訪問できます。）

〇三月十五日（土）入会説明会



ザ・ヒロサワ・シティ会館にて、令和六年度 自衛隊入隊・入校予定者激励会が開催されました。この際、主催団体である防衛協力会のご厚意により、県自衛隊家族会の入会説明会の場を設定して頂きましたので、地区家族会長等の見守られる中、会員四名のアシストとともに県会長がステージにて、入隊・入校者のご家族等に対し、入会説明を実施致しました。



説明は、県自衛隊家族会の活動の目的・信条、自己紹介、令和六年度の活動実績及び本会への入会の要領等について行われました。県会長が会報誌を用いて、ゆつくりと分かりやすく説明されましたので、会場の皆様には当会の活発な活動状況を十分に理解していただいたものと思います。また、入会方法として、従来の入会申込用紙の郵送やFAXに加え、県自衛隊家族会

のホームページから申込む方法を紹介されたことで、即、会場で携帯電話に入力され申込みされる方もおられました。今回の入会説明事業においては、県会長はもとより、多数の会員の皆さんのご協力・ご支援をいただき感謝申し上げます。また、いつもながら自衛隊茨城地方協力本部の皆様のご支援・ご協力は多大であり、衷心よりお礼申し上げます。

〇三月二十六日（水）大井川茨城県知事を表敬訪問



県自衛隊家族会会長、かすみがうら市・つくば市・常陸太田市の各家族会長及び県事務局長の五名が大井川茨城県知事を表敬訪問しました。目的は、同県知事に県自衛隊家族会の存在及び活動状況を知っていただくとともに私たちに応援のコメントをいただくことでした。表敬訪問の場には、茨城新聞の記者の方

方が同席され、翌日の記事として掲載して頂きました。



掲載内容は次の通りです。

「自衛隊の親族らでつくる県自衛隊家族会（正代初代会長）の役員らがきのう、県庁の大井川和彦知事を表敬訪問した。正代会長は隊員を支える家族会の認知度が低い現状に触れ、『広く家族会の活動を知ってほしい』と呼びかけた。家族会は隊員の親族有志が千九百五十五年ごろから活動してきた『父兄会』を前身として、二十七年に発足。現在、県支部に約四百二十人が加入し、自衛隊の業務に対する協力や隊員への慰問、講演、広報活動、殉職隊員の慰霊などさまざまな活動を展開している。正代会長は『隊員が国を守る任務に専念できるようお手伝いしているが、まだ認知度が低い』と課題を説明した。大井川知事は『本県でも多くの方が自衛隊に入隊し、活躍をしている。家

族会でしっかり支えていただき
たい。』と語った。」

○三月二十九日(土) 古河駐屯地の観桜会に参加

古河駐屯地司令のご招待による観桜会に県自衛隊家族会を代表して県会長及び筑西市家族会長が参加されました。外は風雨にみまわれましたが、体育館での開催でしたので、観桜会は無事、和やかに実施されました。司令はとも親しみやすいお人柄で、今後は自衛隊家族会活動(部隊・隊員の慰問・激励等)をお受けいただくようお願いしたいと思っております。



○四月五日(火) 土浦駐屯地の観桜会食に参加

土浦駐屯地司令招待により県自衛隊家族会員の参加者を募り会長以下五名が観桜会食に参加いたしました。(また駐屯地は一般公開され、会員及び会員ご家族の各一名が花見を楽しめました。) 駐屯地の桜は満開で、

正門から霞ヶ浦湖畔まで続く桜並木は壮観でした。



この日は駐屯地の一般開放となり、各地から花見を楽しみに多数の方々が訪れていました。私たちは、桜並木と道路上に整列する武器装備品を眺めつつ会食場に向い、指定された席に着席し、ひと時の会話を楽しみました。



会食場では主催者の武器学校長(土浦駐屯地司令)、駐屯地後援会長及び武器学校OB会長の挨拶に続き、地元のア見町長のご挨拶があり、会食が始まり

ました。準備されていたのは豪華な会食用弁当とお好みのうどんまたは蕎麦、最近阿見町特産となった日本酒などが振舞われ、楽しい宴となりました。会食の中締めでは最先任上級曹長殿が関東一本締めを行う中、自衛隊家族会の参加にも感謝の言葉がありました。まさに本年二月に実施した生徒課程学生の視察・激励が武器学校との絆を深くした感があり、密接な関係を実感することが出来ました。家族会会員は今回の武器学校観桜会に参加したことに充実感を覚えつつ、会場をあとにしました。来年はもっと多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

○四月十三日(日) 第一師団創隊六十三周年、練馬駐屯地七十四周年記念行事に参加

あいにくの雨の中でしたが、厳しい防衛環境の中、式典は屋外において粛々と実施されました。



師団長は整列した部隊(隊員)に対して「君達の一人が危険な状況にあるときは師団の五千人の隊員が救出に向かう。」との訓示をされました。誰もがこのような指揮官の部下になりたいと思わせる素晴らしい瞬間でした。



○四月二十九日(祝・火) イオンタウン守谷で地本の支援

現地ではイベント「みんな大好き!はたらくるま in イオンタウン守谷」が開催され、地元の警察・消防等が参加する中、自衛隊からは地本の龍ヶ崎事務所(武器学校協力)が参加されました。十時から東側平面駐車場で、はたらく車両の展示、また、十三時から「地本のキャラクター撮影会」が行われました。県家族会員もビブスを着てイベントに協力し、子供たちに懐かしのお菓子をプレゼントしました。目的は、県自衛隊家族

会が重視事業としております自衛隊の募集活動を支援することでした。地本龍ヶ崎事務所(武器学校協力)はイオンタウン守谷の東側駐車場にブース(制服・戦闘服の試着【コスプレ】コーナー、高機動車・偵察用オートバイの試乗コーナー、募集案内コーナー)を設置し、活動されておりました。



県家族会側からは会員の有志五名が参加し、活動を支援いたしました。私達家族会は十一時頃から地本龍ヶ崎地域事務所(武器学校協力)の皆さんと合流し、ブースの一部をお借りし、宝箱から広げた昔懐かしのお菓子を児童の皆さんにプレゼントしました。児童の皆さんは自衛官の制服及び戦闘服のコスプレをはおり偵察オートバイや高機動車のドライバに扮して記念撮影を撮り親子で歓声を上げました。後、家族会が準備したお菓子を選んでいくのがお決まりのコー

スでした。



賑わいが最高潮となった時期には、児童のコスプレへの変身の補助も家族会員を参加させていただき、自衛隊と家族会のコラボはとてもうまくいきました。天気は快晴、強い太陽の光の下休みなく約五から六時間充実した時間をすごすことが出来ました。

○五月十三日（火）勝田駐屯地令和七年度家族支援担当者会同に参加

一 参加者

陸上自衛隊四個駐屯地から厚生課長等、茨城地本総務班長、隊友会会長・事務局長、家族会会長・事務局長、航空自衛隊百里基地、第三高隊業務隊長・厚生班長・総務人事係長等

二 実施事項

令和七年度の茨城県の家族支援業務の概要、令和七年度の各駐屯地等の家族支援業務、連絡・調整事項、質疑応答及び意見交換

三 実施結果

自隊担当調整会同等予定
土浦…七月、霞ヶ浦…六月上旬・下旬、十月、古河…十一月
実動訓練予定 勝田…（七月十四日～十八日）に実施、土浦…十～十二月の内一日、霞ヶ浦…十二月の内一日、古河…十一月の内一日、
四 県自衛隊家族会が実施した事項

勝田駐屯地に対する家族支援協力者の名簿提出、百里基地に対する家族支援協力者の名簿提出、07 JXR時の実動訓練要領に関する勝田駐屯地からの事前情報提供を依頼、
五 県家族会として今後検討・調整すべき事項

07 JXR時の家族会統括担当者の調整、同実動訓練への参加要領の検討・調整

○五月二十四日（土）霞ヶ浦駐屯地七十二年、関東補給処二十七周年記念行事に参加

霞ヶ浦駐屯地司令のご招待により県家族会からは県会長、かすみがうら市会長、県会員二名が参加しました。



○五月二十五日（日）石岡ふれあいまつりにて地本の広報活動を支援

「石岡ふれあいまつり」が開催され、茨城地本土浦地域事務所から機動広報車の出張ブースが開設されました。県自衛隊家族会からは石岡市家族会等五名の会員が現地に集合し、広報活動を支援いたしました。



特に児童にクイズを出し、回答を求めて、楽しみながら景品（お菓子や風船）を配り、場を盛り上げることが出来ました。自衛隊の広報官の皆さんと県家

族会員のコラボは、厳正かつスマートな自衛官と家族会員の和らぐ雰囲気両方がミックスされ、多くの市民の皆さんに來場して頂きました。



○六月一日（日）古河駐屯地七十一周年、第一施設団六十四周年記念行事に参加

古河駐屯地司令のご招待により県自衛隊家族会からは、県自衛隊家族会会長及び同筑西市家族会長が招待され、また同県会議員有志が訪れ、記念行事を祝い、楽しみつづ部隊の威容を実感いたしました。



○六月三日（火）茨城地本部長による防衛講話を開催

十六時～十七時の間、自衛隊茨城地方協力本部 本部長 栗秋健士様を講師として演題「日本の防衛（自衛隊の取組み）」について講話をいただきました。例年、県自衛隊家族会の総会に続き関係者のみでしたが、今年は公益事業とし、防衛講話の時間を一般公開としました。



○六月三日（火）県自衛隊家族会総会を開催

ホテルレイクビュー水戸において「茨城県自衛隊家族会総会



を開催致しました。

会には会員四十二名が参加し、自衛隊からも航空自衛隊第七航空団司令をはじめ、県内の駐屯地・基地から五人の高級幹部、茨城地方協力本部から六人の出張所長等が出席されました。

総会は午後二時に開始され、次第に従って進行いたしました。



盛りだくさんの審議でしたが、参加会員のご協力の中、全件原案のとおり承認・可決されました。総会の後、参加者全員で記念写真を撮り、休憩の後「防衛講話」となり、本年初めての試みとして、一般公開により行わ

れました。

防衛講話後、懇親会参加者による記念撮影となりました。この際、第一師団長、第一施設団長、第三高射隊長、長島茨城県隊友会長ほか県下駐屯地から高級幹部のご参加、また、自衛隊茨城地方協力本部から本部長以下各地区の事務所長、県自衛隊家族会からは約三十名の会員が参加し、総計四十二名の参加を頂きました。



○六月十七日（火）全国家族会総会及び表彰受け

市谷会館にて開催された全国自衛隊家族会総会において、茨

城県自衛隊家族会が「会勢拡大」

（正会員数の著しい増大による全国自衛隊家族会への寄与）について全国一位を認められ、（公社）自衛隊家族会長から表彰され、正代県家族会長が代表して受理して参りました。



これは、従来から百パーセントの県所属会員を有する市町村家族会は元より、一昨年度からの県会長が依頼し（呼びかけ）てまいりました「（公社）自衛隊家族会の定款に則った体制への移行」（会員は、原則として居住地の各県家族会に所属する。）に賛同し、組織を是正して頂いた同家族会のお陰であり、茨城県が全国に認められた第一歩となりました。ここに茨城県自衛隊家族会の会員皆様に深甚なる感謝を申し上げます。今後は、更なる会勢拡大とともに真の自衛隊の支援団体となるべく、「隊員募集への協力」、「隊員家

族支援への協力」及び「部隊・隊員の視察・研修及び激励」等を重点に積極的に活動して参りますので、倍旧のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



○六月二十日（金）第二〇一全般支援隊を視察・研修・激励

県自衛隊家族会から十六名が参加し、午前九時ごろ部隊の整備工場地区に到着、高橋隊長から部隊の任務・編成・運用等の概要説明をいただき、その後、次週から訓練検閲を控えた部隊の済々とした隊容検査、部隊統一の車両点検、小銃射撃手順、

重機関銃及びLAM（無反動砲）の操作手順を展示いただきました。その後、部隊指導者による格闘展示、大型トラックの故障を想定した車両回収の展示等多種多様な訓練展示を頂き、一〇一全般支援隊の威容を実感することが出来ました。



途中休憩時間には、今回参加の家族会会員のご子息が同僚と共に登場され、ご両親と記念写真を撮るシーンがあり、微笑ましい限りでした。昼には体験部隊喫食後、部隊が整列され、家族会会員と激励式を行いました。先ず、高橋隊長から県家族会の激励訪問に対する感謝の言葉があり、正代県家族会長からは訪問を快く受け入れて頂くと共に各種の素晴らしい訓練展示に対

し感謝と激励の挨拶がありました。その後、県家族会から部隊に対し激励品を授与するとともに家族会参加者から一人ずつ各人各様の挨拶を行いました。



最後に、整備工場前にて隊員及び県家族会員の合同記念写真を撮り名残惜しい中、離隊となりました。



県自衛隊家族会員と自衛隊員の皆さん

〇七月一日（火）～六日（土）市街地広報支援

七月一日（火）募集解禁に伴い、自衛隊茨城地本の筑西及び龍ヶ崎の各地域事務所による市街地広報が開始されました。今回はJR下館駅と関鉄竜ヶ崎駅の両駅にて実施されました。関鉄竜ヶ崎駅には、阿見町林会員、龍ヶ崎市酒井会員に参加して頂き、地本、武校のほか稲敷地域消防本部の方々とコラボで募集・広報用グッズを配布いたしました。



配布を受けるお客様は両駅とも自衛隊に好意的な方が多い印象を受けました。県自衛隊家族会の皆様にはお時間が許せば是非この事業にご参加いただきたいと思っています。極めて充実した自衛隊支援を体感できること間違いなしです。

JR下館駅には筑西市大足会

長ほか入野会員、雨貝会員の三名の方に出向いていただきました。早速、鈴木所長から感謝のメールをいただきました。



七月三日（木）、四日（金）JR牛久駅では市街地広報に阿見町家族会の高橋会員・関根会員、龍ヶ崎市副会長の酒井会員及びつくば市家族会員の大森会員に参加して頂きました。（正代会長撮影）



七月五日（土）土浦イオンに「ニヤトラーズ」が登場、県家族会から木間塚かすみがうら市

会長、酒井龍ヶ崎市副会長、豊島阿見町会員、中嶋ご夫妻石岡市会員（写真提供：豊島会員）が応援参加しました。



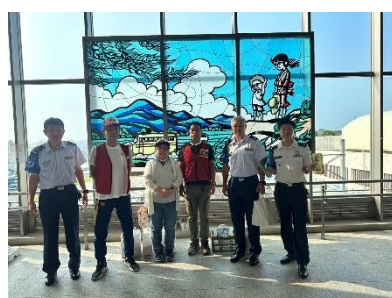
七月六日（日）イーアスつくばにて公務員合同説明会とイベントが実施され、豊島会員と大森会員が協力参加致しました。お二人とも最終日までご協力ありがとうございました。



〇七月八日（火）石岡駅、十日（木）神立駅にて市街地広報支援

JR石岡駅では石岡市宮田会

長、中嶋裕会員、中嶋文会員が参加され、自衛隊の市街地広報活動に協力されました。暑い中お疲れさまでした。（写真提供：中嶋裕会員）



JR神立駅にてかすみがうら市木間塚会長、同酒井副会長が参加され、自衛隊の市街地広報活動に協力されました。暑い中お疲れさまでした。皆さんの笑顔に活動の達成感を感じます。（写真提供：木間塚会長）



〇七月二十四日（木）古河駐屯地司令の招待による

納涼祭が行われ、正代県会長
筑西市大足会長、県事務局長が
参加致しました。



○七月二十五日(金)

霞ヶ浦駐屯地司令の招待による
納涼祭が行われ、県自衛隊家
族会からかすみがうら市会長
木間塚さん、龍ヶ崎市副会長
酒井さん、阿見町地区会員豊高
さんの三名の会員が参加いたし
ました。



○八月四日(月) 勝田駐新隊員の 訓練を視察・激励

水戸市枝川にて実施された勝
田駐新隊員の軽門橋訓練を視
察・激励して参りました。県家
族会の本視察・激励事業に会員
十二名が参加し、猛暑の中、午
前十時〜十一時半の間、軽門橋
に関する訓練内容・資器材の説
明受け及び新隊員の皆さんによ
る舟の運搬動作及び軽門橋の固
定動作を視察いたしました。



新隊員の皆さんは正に猛暑の
中、救命胴衣を装着し、地下足
袋を履き、真剣に訓練に取り組
んでおられました。私たち県家
族会会員は訓練管理者の統制に
従いながら心を込めて新隊員の
皆さんを応援・激励致しました。



○八月六日(水) 古河駐新隊員の 訓練を視察・激励

水戸市枝川にて実施された古
河駐新隊員の漕舟訓練を視察・

激励して参りました。県家族会
の本視察・激励事業に会員十名
が参加し、猛暑の中、午前九時
三十分〜十時十分の間、新隊員
後期の皆さんが漕舟訓練に取組
む様子を視察・見学しました。



その後、訓練休憩に戻られた
新隊員の皆さんに対し、正代県
会長が激励の挨拶をいたしまし
た。



新隊員の皆さんは正に猛暑の
中、救命胴衣を装着し、地下足
袋を履き、八個チームに分かれ
て漕舟訓練に取り組んでおられ

した。私たち県家族会会員は訓
練管理者の統制に従いながら心
を込めて新隊員の皆さんを応
援・激励致しました。なお、明
日はこれまでの訓練成果を試す
競舟競技会が行われるとのこと
でした。私達は、新隊員の皆様
のご健闘を祈りつつ、訓練場を
後にしました。

○八月十六日(土) 勝田駐屯地
司令招待による花火観賞会

勝田駐屯地で実施された自衛
隊協力者との懇親会と駐屯地グ
ラウンドから打ち上げられた花
火観賞(ひたちなか祭り)を堪
能して参りました。



昨年の豪雨の中の花火大会と
は異なり、今年は正に納涼花火
大会にふさわしい天候の中、参
加者皆さんが和やかに懇親会と
豪華な花火を楽しむことが出来
ました。特に夜空の頭上間近に
広がる連続花火は圧巻でした。
県自衛隊家族会からは正代県会
長、町島水戸市会長、佐藤同事

務局長、大森つくば市会員、関根阿見町会員、正代県事務局長の六名が参加し、圓林駐屯地司令ほか隊員の皆さんや自衛隊協力者の方々との絆を深めることが出来ました。



○八月二十八日（木）富士学校を研修・激励

富士学校研修に行つてまいりました。



茨城県自衛隊地方協力本部の

ご協力のもと、県自衛隊家族会員二十一名のほか、防衛大学校父母会、高等工科学学校保護者会の皆さんが参加し有意義な研修となりました。

研修時程は次の通りです。十時～十一時BOC（幹部初級学生）が指揮し、十式戦車及び一六式機動戦闘車による実弾射撃訓練を視察・研修、「自衛隊の東富士演習場（総火演が行われる畑岡地区）に移動し、富士学校の機甲科部学生が射撃指揮し、単独の戦車が隠れ移動し射撃する一連の動作を見学いたしました。射撃に使用する弾薬は実弾であり、約二千メートルの距離にある小目標を射撃しておりました。射撃から弾着までは目で追えない速さのため、目標の砂煙により命中を確認いたしました。



次に一六式機動戦闘車が同様の行程にて実弾射撃を行い、こ

ちらも瞬時に小目標に命中いたしました。最大時速百キロで走行できるとともに、海上輸送及び機動性に優れているとのことでした。



十一時～十二時 富士駐屯地の広報資料館の見学・説明受け「入口正面には、普通科・特科・機甲科の三人の勇士の像が見学者を迎えてくれました。



資料館では、スライドによる

富士駐屯地及び富士学校の概要説明があり、また、館内を巡回しながら旧日本軍からの軍（師団級部隊）の変遷の説明を受け日本軍の歴史の一端を知ることが出来ました。十二時半～十三時富士駐屯地食堂における体験

喫食（この日は、親子丼風定食（約二千カロリー）をいただきました。会員の中には大盛りを選択し、平らげる武者もいました。十三時～十四時九六式装甲車の体験試乗（駐屯地の土のグラウンドで一組六人ごとに分かれ体験試乗を行いました。



割と上下振動が強く、砂煙を浴びる状況でしたが貴重な体験となりました。体験試乗場に隣接して偵察用ドローン、新小銃、対艦ミサイルの装備展示があり、遠くには特科部の新隊員卒業前の課題としてFH70の空包射撃を実施しておられ、迫力ある閃光と空包音を聞くことが出来ました。今回の研修は早朝から夜更けまでの強行軍となりましたが、研修は参加者にとっても通常は体験できない素晴らしい研修となったと思います。ご参加の皆さんご苦労様でした。

○九月二日（火）・三日（水）
南関東協議会に参加

令和七年度南関東地域協議会「定例会議」は、神奈川県担当にて実施されました。南関東地域協議会は茨城県、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、埼玉県及び山梨県の自衛隊家族会で構成されています。また、参加者は各都県会長、事務局長、地本部長、方面隊人事部長等から成ります。時程は次の通りです。九月二日（火）①記念艦三笠見学、戦艦三笠は日露戦争時にバルチック艦隊を撃破したことで有名ですが、加えて鉄製の戦勝記念艦として世界最古のものであるとのことでした。



②定例会議（議事審議…土官室）令和六年度事業報告・会計収支報告・監査報告、令和七年度事業計画（案）・会計予算（案）・役員の選任（案）・各県持ち回りの予定（案）が審議されました。③本部通知（高田委

員)「家族支援に対する協力に関する協定書」・「入隊入校確定者情報の提供に関する協定書」・「非常勤務員の配置状況」について連絡がありました。④定例会議(討議)大テーマは「『家族支援に対する協力に関する協定書』締結を受けて防衛省(自衛隊)に望むこと」であり、各都県の先頭を切って茨城県からは正代会長が発表(写真参照)いたしました。大テーマ二は「活動の基盤強化についての取り組み」であり、茨城県からは事務局長が発表いたしました。



⑤記念撮影、懇親会参加者による集合写真(写真参照)となりました。⑥意見交換会(ホテルハーバー横須賀)、上田東部方面総監、真殿横須賀総監、藤岡防大副校長、星指高等工科学校長、新田三十一普通科連隊長をお迎えして、和やかな中、各県会長による自己紹介や家族会運営に関する想い等を含めた挨拶

がありました。
九月三日(水)は①慰霊碑参拝(少年工科学学校十二期生慰霊碑)



昭和四十三年雨の中戦闘訓練の終盤に河川渡泳攻撃訓練を実施中のところ十三名の生徒が殉職された事故、この殉職生徒の敢闘精神をたたえろとともに、その悲劇を後世に伝えるため建立されたこのことです。②防衛講話(高等工科学学校長 日本の防衛・武山駐屯地・高等工科学学校の沿革と未来予想について講話されました。③部隊見学(第三十一普通科連隊)常備自衛官と即応予備自衛官から成る三十一普通科連隊の状況・特性等について連隊長殿から説明がありました。④隊員激励(第三十一普通科連隊)各都県出身の隊員を激励する中、茨城県出身の二名の隊員の方(谷口さん…取手出身、平井さん…笠間出身)を激励いたしました。



お二人ともとても爽やかな好青年で茨城県の誇らしい自衛隊員でした。今後のご活躍、ご発展を信じております!⑤体験喫食(武山駐屯地 北食堂)海上自衛隊の献立で、海上自衛隊カレー定食を試食させて頂きました。初めて味わうスパイスが効いたとても美味しいカレーでした。

○九月八日(月) 武器学校長を表敬訪問

八月にご着任された陸上自衛隊武器学校長兼ねて土浦駐屯地司令の佐藤洋様を正代初代県自衛隊家族会長が表敬訪問いたしました。ご出身は山形県、防衛大学校三十七期、前職の九州補給処長兼目達原駐屯地司令から現職へ異動されております。



佐藤様からは、「学校・駐屯地行事に隊員、家族や自衛隊家族会の参加を頂き隊員と共に楽しめる機会を設定していきたい。」との有難いお言葉を頂きました。

○九月八日(月) 第三高射隊長を表敬訪問

八月にご着任された中部高射群第三高射隊長兼ねて霞ヶ浦分屯基地司令の西浦夕貴様を正代初代県自衛隊家族会長が表敬訪問いたしました。ご出身は熊本県、防衛大学校五十一期(平成十九年三月卒)、前職の航空幕僚監部運用支援・情報部運用支援課(市ヶ谷)から現職へと異動されております。西浦夕貴様からは、「隊員と隊員家族と一緒に楽しむ機会を設けるとともに、その場に自衛隊家族会の皆様も参加いただき、互いを知り、理解しあえる部隊運営をしていきたい。」との有難いお言葉を頂きました。



○九月十四日(日) 茨城地本を支援(しもだて商まつり)

「しもだて商まつり」で出展された茨城地本筑西地域事務所の募集広報ブースに、県自衛隊家族会から三名の会員が参加支援いたしました。支援の様子について会員の皆さんから情報提供いただきましたのでご紹介致します。参加者はつくば家族会の大森さん、龍ヶ崎家族会の酒井さん、阿見町家族会の関根さんです。大森さん…写真は私が撮ったので写っていません笑。酒井さんと関根さんの感想(メッセージ)を送ります。酒井さん…子供たちが自分ですぐにバッチ作りして出来上がったときの笑顔が可愛かったし、沢山の人がブースに来てくれて、とても楽しかったです。私も初めてバッチ作りを見たけど楽しかったよ。パジェロも、人氣あったしね。関根さん…厳しい暑さの中でしたが、子供たちは制服を着て、パジェロに乗って満面の笑みで写真を撮られてました。写真を撮られる親御さんたちも、その勇姿を一目で観になられ嬉しそうでした。また、子供たちは好きなイラストを選んで、自分でバッチを作りましたが、目を輝かせ嬉しそうに完成したバッチを眺めていました。そんな姿に、元気をいただきました。少しでも、子供たちの中に今日の出来事が心に残り、自

衛隊について関心を持っていた
だけることを願いがら、お手
伝いさせていただきます。



○九月十六日（火）東部方面隊 招待による定期演奏会を鑑賞

東部方面隊招待の第八十四回
定期演奏会に茨城県自衛隊家族
会を代表して県会長が参加いた
しました。会場には千葉県・山
梨県から各県家族会長が来場さ
れており、ご一緒に懇談や写真
撮影を行うことが出来ました。



○九月二十一日（日）筑西地域 事務所の広報活動を支援

下妻のイベントで出展された
筑西地域事務所のブースに県会
員二名（つくば家族会の大森さ
ん、阿見町家族会の関根さん）

が参加し、支援（お手伝い）さ
れました。



今回は、子供たちが海上自衛
隊の組紐づくりに挑戦するもの
でした。子供たちはとても飲み
込みが早く、とても楽しそうに
編んでいました。

○九月二十二日（月）百里基地 司令を表敬訪問

第七航空団司令 兼 百里基地
司令 鈴木 繁直様を正代県会長
が表敬訪問いたしました。鈴木
様は、岩手県出身、上智大学法
学部卒、本年三月に第九航空団
司令兼ねて那覇基地司令（沖縄）
から現職にご着任されておりま
す。



面会時には、いの一番に、先
ず過日の「ミ」緊急脱出事案につ
いてお詫びの言葉を述べられ、

その後、幸運にも脱出は無事成
功し、パイロットは帰還後、速
やかに整備隊に出向き、自分の
無事を報告されたそうです。
事故原因は現在調査中でありま
すが、早期に原因究明及び対策
が完了し通常態勢に戻ることを
祈念しております。最後に、鈴
木司令は自衛隊家族会にご見識
がありで、「今後とも自衛隊
へのご支援・ご協力をお願いし
ます。」とお言葉を頂きました。
た。

○九月二十二日（月）百里救難 隊長を表敬訪問

航空自衛隊 百里救難隊 隊長
平山 士（あきら）様を正代県
会長が表敬訪問いたしました。



百里救難隊は、捜索機…「
12A」、救難ヘリコプター…「
8」の二機種を保有されており、
二十四時間三百六十五日常に救
難出動に備えられております。
平山隊長は、従来から自衛隊

家族会には見識があり、防衛情
報紙「おやばと」も読んでおら
れるとのことでした。県会長が
百里救難隊への視察・激励の機
会を頂きたい旨を申し出ました
ところ、快くお受けいただきました。
百里救難隊の皆さまには
くれぐれも安全にご留意され、
救難の最後の砦として活躍さ
れることを祈念しております。

○武器学校、土浦駐屯地創立七 十三周年記念行事に参加

好天に恵まれた秋晴れの下、
県家族会から会長ほか十名の会
員が招待され、武器学校として
は最後となる創立記念行事に参
加致しました。

式典は国旗入場に始まり、巡閲



執行官式辞、来賓祝辞と続き式
典後は装備アトラクションが行
われました。来年度から後方支
援学校に新編されることを象徴
し後方職種の装備品の紹介が続
き、その後、即席爆弾（IED）
のロボットによる処理展示が行
われました。



十二時からは隊員食堂にて記
念会食となり家族会の参加会員
による集合写真を撮り、和やか
に会食を楽しみました。



また、県会長は鏡割りに参加
致しました。



編集者 w

県事務局長 正代 藤倫

fujinoritsatsuyoshodai@gmail.com

賛助会員 (法人)

ロイヤル化粧品株式会社

昭和金属工業株式会社

ホテルレイクビュー水戸

ホテルテラスザガーデン水戸

株式会社リペイントワン

株式会社イーストワン

合資会社薄井電機製作所

賛助会員 (個人) 敬称略

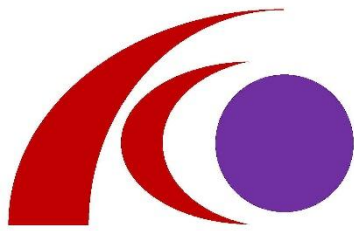
正代 初代 正代 藤倫

木間塚 仙子 小針 靖晃

高橋 将 大森 幸代

関根 恵美 須藤 賢一

須藤 志保 松瀬 智恵美



ロゴ



会旗



茨城県自衛隊家族会

HP QRコード

自衛官であるときも (Active)

自衛官でないときも (Reserve)

自衛官でなくとも (Support)

どこにいても **日本**を守っている。



茨城県自衛隊家族会のHPです。
QRを読み込んでみてください。



茨城地本キャラクター
陸にやっとな